



# 日本信号による自動運転システムの一例

## 概要

日本信号は、鉄道の自動運転システムにも貢献しています。  
最近では、2019年9月に開業した韓国の金浦都市鉄道（Gimpo Goldline）にCBTCシステム”SPARCS”を納入しました。このSPARCSにより、金浦都市鉄道ではGoA(Grade of Automation)4レベルの自動運転（UTO:Unattended Train Operation）を実現しています。金浦都市鉄道の計画を皮切りに金浦市では人口が急増しており、旅客移動手段としての市民から期待がかけられています。日本信号は、これからも世界各地に鉄道の自動運転システムを提供してまいります。

## 路線について

項目	内容
事業施行者	金浦市
委託事業管理者	韓国鉄道施設公団／ソウル交通公社
区間	陽村(Yangchon)－金浦空港(Gimpo Int'l Airport)
総延長	23.6km（車庫、陽村駅を除く全線が地下）
駅数	10駅（地下9駅、地上1駅）
開業	2019年9月 GoA4で全線開業
車両メーカー	現代ロテム(Hyundai Rotem)



## 開業時の風景



Gimpo Goldline の列車



乗務員のいない先頭部に集まる乗客